



◆ **世界地図歩き**
ケニアを訪ねて 帝国書院・2

◆ **新教科書での指導と評価のポイント**
新学習指導要領における**学習評価**のあり方
-新3観点をどう捉え評価するか- 石井英真・3

◆ **社会科学習 トラの巻②**
社会科学習における**地図帳の活用**
-三分野を通して- 赤坂寅夫・6

◆ **ICTで学びが変わる！ 実践編①**
タブレット端末を文具として使いこなす社会科授業の日常-伊藤流！本質を捉え細部にこだわるICTを活用した授業- 伊藤 郷・9

◆ **公民教室 専門家に聞いてみた**
今、知りたい！ **主権者教育**
春田久美子・12

◆ **やってみよう！歴史でAL**
外国から日本がどう見られてきたか①
-江戸幕府の**対外政策を「外」の視点**から捉える- 山内敏男・14

◆ **授業研究 地理**
「世界の諸地域 北アメリカ州」
-**アメリカ合衆国の旅行計画書**を作ろう- 井上弘毅・16

◆ **授業研究 歴史**
資料の読み取りから評価する「**主体的に学習に取り組む態度**」-「タイムトラベル⑤」を活用した鎌倉時代の学習- 相磯達夫・20

◆ **授業研究 公民**
「**アクティブ公民**」を活用した授業実践例
-多数決から民主主義を考える- 村木龍太郎・24

◆ **史料にみる歴史**
感染症と私たち—20世紀のインフルエンザ
成田龍一・28

◆ **社会科ニュース** 30

◆ **訂正のお知らせ** 31



世界地図歩き

一地図帳とともに世界を歩こう



2018年8月、赤道直下の国、アフリカのケニアを訪ねた。『中学校社会科地図』とともに当時の風景を振り返る。

ケニアを訪ねて



43 アフリカ州の資料(2) ① アフリカ州をながめてみよう

マサイの人々の伝統的な衣装

ケニアとその周辺で見られる野生動物

① 地図活用
①図に示されたらくだやゴリラ、ライオンがいるところの標高を、p.42③図で確認して答えよう。

p.42② A-B 標高の断面図

↑『中学校社会科地図』p.43 (一部追記)

『中学校社会科地図』p.41~42



■サファリ大国・ケニア

ケニアは、赤道直下の国である。しかし、『中学校社会科地図』(以下、地図帳) p.41~42からも分かるように、その国土の大半は標高1000m以上の高地にあるため、沿岸部以外は年中穏やかな気温となる。地図帳p.42「③気温と降水量」からは、中央部から西部にかけて降水量に季節変化があることが分かる。この季節変化が雨季と乾季であり、雨季の降水が大地を潤して草原を育てる。草原地帯には野生動物が多く生息している。ケニアでは、それらの地域を国立公園や動物保護区に指定して動物を保護すると同時に、観光にも力を入れている。表紙写真は、マサイマラ国立保護区で撮影したサファリツアーの様子である。隣国タンザニアのセレンゲティ国立公園とも隣接するこの保護区は、柵がなく、広大な草原を動物たちが自由に行き来している。シマウマやヌーなどの草食動物が多いが、サファリカーのドライバーは無線で情報を共有し、ライオンやチーターなど人気の肉食動物の目撃情報が入ると、車を走らせてその場所に集まる。あっという間にサファリカーに囲まれてしまったライオンたちは、少し迷惑そうな顔をしていた(写真③)。

写真①は、ゾウで有名なアンボセリ国立公園の入園

ゲートである。サファリカーが各公園で入園手続きをしている間に、地元の人々が民族衣装を身にまとい、観光客にお土産を売りに来るのも恒例の光景であった。

■大迫力のアフリカ大地溝帯

地図帳p.43の鳥瞰図のアフリカ東部には、南北に谷が陰影で表現されている。これが全長約7000km、幅数十kmもあり、アフリカ大陸東部を切り裂くように走る巨大な谷の大地溝帯だ。ケニアではこの大地溝帯が国土を東西に二分する。そのため、国内を東西に移動していると、この巨大な谷の縁にあたる標高差100m以上の急崖に遭遇する(写真②)。この崖を越える狭い峠道が大変で、故障車が出ると何時間も抜けられない大渋滞に巻き込まれる。

大地溝帯の中に形成された湖の一つ、ナクル湖はフラミンゴの楽園として有名な湖である。水質がアルカリ性で、フラミンゴが好むピンク色の藻がよく繁殖するためである。しかし近年、気候変動の影響でナクル湖周辺の降水量が増加して湖面が上昇。その結果、水質が変化して藻が育たず、フラミンゴが激減しているという。訪れた際はフラミンゴが少し見られたが(写真④)、湖面上昇で水没している施設なども見られ、気候変動の影響を身近に感じることができた。